



楽しく美しい
まちづくり通信



金田一の 延命地藏尊

金田一小学校入口前より駅の方へ百メートル、左側にお仮屋の地藏堂があり、このお堂の中に延命地藏尊が安置されています。お地藏様は目と長寿の神様です。

元文元年(一七三六)年、大阪から海路八戸に着いたお地藏様を土車で一戸の廣全寺に運ぶ途中、金田一で動かなくなってしまうました。イタコにきくと、「金田一の人たちから拜んでもらいたい」とのことだったので、村人たちがここにまつたといういつたえがあります。

この地を安住の地と定めていた地藏様も、明治二十四年の東北本線開通のときに、現在のお仮屋に移されました。このお堂の周りには、古い石碑が十基もあり、当時の信仰の様子をしのばせています。

○地藏様のご縁日

春は三月二十四日(今年は五月二日)、秋は八月二十四日で、ご縁日には地域の人たちが手作りのご馳走を持ち寄って、お昼ごろより大勢の人が集まりにぎわいます。

男女共同参画 社会について 考えよう

11



◎男女共同参画と少子化問題

現在、非常に深刻な問題として、少子化があげられます。

少子化の進展の最も大きな影響として、日本の総人口が減少していく「人口減少社会」を迎えることになることがあげられます。

日本の総人口は、二〇〇六(平成十八)年にピークを迎え、二〇〇七(平成十九)年から減少するといわれています。

現在の日本の総人口は一億二、七六一万人ですが、二〇五〇年までに約二、七〇〇万人減少し、一億五十九万人になると見込まれており、二一〇〇年には現在のほぼ半分の六、四一四万人になると予想されています。

平成十六年に発表された合計特殊出生率(十五〜四十九歳までの女性が生涯に平均して何人の子供を産むか示したもの)は一・二九と過去最低の数字を記録しました。晩婚化、未婚化の進展や夫婦の出生力の低下(結婚した夫婦が持つ子供の数の低下)などが少子

化の直接の原因として指摘されています。

少子化は次の三つのような社会的、経済的影響をおよぼすといわれています。

①労働力人口の減少

若年層の労働力が減少して六十歳以上の労働力が増加していくという労働力人口の高齢化

②経済的な需要面からみると、人口の減少に伴い食糧・衣料・住宅などを中心に商品への需要が減少することが予想されます。

③現在の社会保障負担は、現役世代の保険料負担が高齢者の給付にまわる構造となっています。少子化傾向が予想以上に進み労働力人口が現在の推計よりも少なくなる、さらに現役世代の負担は増えることとなります。

日本の人口構成上、出生率や出生数の回復にとって、これからの五年間が大事な時期であり、「男女共同参画」が重要となってくると言われています。

▽問い合わせ先 市まちづくり推進課(25・5411)